

令和 8 年度横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 会議録		
日 時	令和 8 年 6 月 15 日（月）15 時 00 分から 16 時 05 分まで	
開 催 場 所	市庁舎 18 階共用会議室、Web 会議	
出席者	飯塚 美穂子 委員、片川 智子 委員、清水 純也 委員、野津 直樹 委員、日高 伸一 委員、普光院 亜紀委員	
欠席者	佐藤 康富 委員、廣井 雄一 委員、松田 妙子 委員	
開 催 形 態	公開（傍聴者 1 人）	
議 題	1 委員長の選出 2 各分科会委員の指名について 3 各分科会の令和 7 年度実施報告及び令和 8 年度実施概要について	
決 定 事 項	1 委員長に片川委員を選出、職務代理者に飯塚委員を指名 2 各分科会の所属委員を決定	
	発言者	内容
議 事	事務局	【委員長及び職務代理者の選出について】 ・片川委員を委員長に選出 <了承> ・片川委員長から、飯塚委員を委員長職務代理者に指名 <了承>
	事務局	【横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について】 委員会の担当事務、分科会を含めた組織等について資料に基づき説明
	事務局	【分科会の今年度の開催予定状況の説明・各分科会委員について】 資料に基づき説明
	片川委員長	事務局から、本委員会の概要、分科会の今年度の開催予定状況の説明、分科会の委員について提案があったがいかがか。
	各委員	<了承>
	事務局	【各分科会の令和 7 年度実施報告及び令和 8 年度実施概要について】 <u>1 横浜市各区地域子育て支援拠点運営法人選定委員会</u> 資料に基づき報告
	飯塚委員	地域子育て支援拠点の運営法人選定委員会について、各委員で分担し、1 か所または 2 か所ずつ委員会に出席して審査を行った。私は保土ケ谷区と青葉区を担当した。いずれの区においても、審査委員会の前に近隣区の拠点を見学した。選定先とは異なるが、隣接する区の拠点を見学したことで、利用者が区をまたいで利用している

		様子を把握できた。こうした状況を踏まえて、プレゼンテーション及び審査に臨むことができたので、審査は円滑に進み、本結果となった。
	野津委員	私は中区を担当し、委員長として審査を行った。様々な委員の意見を踏まえ、公正な審査が行われたと感じている。以前の会議でも申し上げた記憶があるが、可能であれば選定委員が現場を視察できる機会があるとよいと考えている。今回、選定後ではあったが実際に視察することができ、大変参考になった。
	普光院委員	私は他の自治体で、保育園の選定委員や事業者選定委員を務めてきた。その中で、保育園の事業者が行っている子育て支援事業などを拝見することが多いが、これまで経験してきた選定委員会では、すべて現地審査があり、選定が決定する前に必ず現場を見ることになっていた。 今回のように現地審査がなく、選定後に現場を見学する形となっているのは初めてだが、何か理由があってそのような形になっているのか。
	事務局	現場を確認してからというご意見は非常に重要であると認識している。 実際には各区役所との調整が必要になるが、今後は選定委員会のタイミングに合わせ、先ほどご意見にあった周辺区や当該区の拠点について、事前に見学できるよう検討していきたいと考えている。
	事務局	<u>2 横浜市親と子のつどいの広場運営団体選定委員会</u> 資料に基づき報告
	飯塚委員	昨年度は、運営団体を3か所選定した。3団体それぞれについて、規模や実績、これまでの経験年数などにかなり違いがあった。その点について委員として検討する中で、特に経験の浅い団体については、行政側からの支援やサポートが必要ではないかという意見を出したと記憶している。現在の実施状況については、次回の委員会で共有いただけるものと考えているが、その点について継続して支援をお願いしたいと考えている。
	事務局	<u>3 横浜市乳幼児一時預かり事業事業者選定委員会</u> 資料に基づき報告
	日高委員	先ほどから話が出ているが、事業所のプレゼンテーションを聞き、写真や会計書類などを見ながら選考することについては、非常に難しさと責任の大きさを感じている。ただ、普段見ている園の実際の現場の姿をもとにイメージしながら、どのような保育が行われるのか、こどもや保護者との関わりがどのように生まれるのかを、できるだけ具体的に想像し、質問しながら選考を行いたいと考えている。 一点、質問したい。先日あった台風6号の件で横浜市から発出された文書によると認可保育所が休園となった場合、在園児が認可外施設、つまり現在私たちが選定している乳幼児一時預かり事業を利用した場合に、1日2万円まで補助金が支給さ

		れるというものであった。この内容を見たときに、認可保育所が警戒レベル4等になって休園した場合、その代替としてこれらの施設がこどもを受け入れる前提になっているのではないかと感じた。横浜市として、この乳幼児一時預かり事業の施設に対して、認可保育所が休園になった警戒レベル4の状況でも開所することを求めているのか、その基準について教えていただきたい。
	事務局	ご指摘いただいた点についてはそのとおりであり、現在、認可保育園が休園になった際の補償・補助の仕組みとして実施している。ただし、今回6月の状況を踏まえ、認可保育所側の判断のタイミングや周知内容が適切であったかどうかについては、現在検証している。 その中で、ご指摘のとおり、認可保育園が休園している状況において、乳幼児一時預かり事業に対して「実施してください」や「休園してください」といった直接的な指示は行っていなかったが、この制度の存在により、結果として間接的に開所を求めているような形になっている点が、適切であるのかについて内部で議論しているところ。もともとこの補助金は、コロナ等の感染症が流行した際に、保育園の一部が休園となった場合の代替として検討されたものと聞いているため、今回のような風水害時の対応についても含め、現在、認可保育所向けの周知内容の見直しと併せて、この制度の取扱いについて検討を進めているところ。
	清水委員	今回参加した中で、プレゼンテーションに慣れている事業者もあれば、そうではなく、新たなチャレンジとして取り組んでいる事業者もあるという印象を受けた。プレゼンテーションの上手さで評価するのではなく、その中にあるこどもに対する思いに着目して話を聞くように心がけて審査を行った。 引き続きこの委員会に参加する中で、少しでもこどもたちの心に寄り添うことができる事業者が増えていくことを期待している。
	片川委員長	この選定委員会には、実際に現場で活動されている様々な立場の方が参加されており、それぞれの経験や大切にしている視点から、多角的に質問しながら確認していけることは、大変ありがたいことだと感じている。 一時預かりを行う中で、安全性が確保できるかという点については、施設内の階段や段差なども含め、一つひとつ確認しながら進めていく必要があると感じる。実際に何か起きたときに、安全が守れるかという点についても、しっかりと確認していく必要があると考える。 また、事業者の思いも非常に重要であり、こどもの安心や、こどもが十分に遊べる環境、一時預かりではあるもののその中で育まれるものについて、どれだけ具体的に説明されているかという点についても、丁寧に確認していく必要があると感じている。実際に現地を見ることができない中で、運営の具体像がどこまで見えるかという点は重要だと考える。
	事務局	<u>4 横浜市立保育所の民間移管にかかる法人選考委員会</u> 資料に基づき報告

		(佐藤委員欠席のため報告なし)
	事務局	<u>5 横浜市病児保育事業実施医療機関選定委員会</u> 資料に基づき報告
	野津委員	この委員会は、視察がなく、事前評価と 1 回の会議で進める形式であった。その中で一定の役割は果たしたつもりだが、十分な関与ができたかどうかとを感じる。距離的な条件や施設の位置関係、また専門性の高さなどから、現場見学などを実施することが難しい状況だったのではないかと思う。
	片川委員長	この分科会では、医師の方々とともに資料を確認しながら意見交換を行い、選定を進めていく流れとなっている。 病児保育事業については、感染症などの状況下で、どのように人員配置を行い、安全を確保しながら保育を実施していくかという点が、基準以上に難しい課題であるという意見が、昨年度も出ていたと認識している。 また、実際に事業を引き受けてくれる医療機関が多くないという現状もあり、その中で体制を整えて実施していただいていることを、学びながら参加しているところ。自分自身も、そうした状況を理解しながら議論に参加しているという側面がある。 その中で、私たちの役割としては、保育の観点から評価することであり、病児保育ではあるが、こどもが安心して過ごせることや、遊びや生活の中での経験が保障されているかといった点を、しっかり確認していく必要があると考えている。 今回の応募の中でも、既に親子支援の実績があり、その延長として事業化を図るケースもあり、事業者ごとの考え方や重要視する点の違いがあることも感じた。 また、保育士と看護師が協働してケアにあたる体制において、研修計画や連携のあり方がしっかり考えられている点は、重要なポイントであると感じている。 以前の会議及び今回の状況を踏まえると、現地視察の必要性については継続した課題であると認識している。実現にあたっては現実的な制約もあると思うが、引き続き担当課において検討いただくようお願いしたい。
資 料		資料 1：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 委員名簿 資料 2：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 事務局職員名簿 資料 3：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会の概要について 資料 4：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会分科会委員名簿 資料 5：令和 7 年度実施報告及び令和 8 年度実施概要について 別紙 1：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会運営要綱 別紙 2：横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会 各分科会の運営要綱
特記事項		なし